



# 放課後は 別の顔



after

州大会」で、1・2年の時は2位で全国大会へ出場することができずに悔しい思いをしましたが、3年時には1位になることができ、全国大会に出場。この経験から、将来はフルート奏者になりたいと思うようになりました。フルート

鹿屋高校  
いへむら ま お  
**家村 舞音** さん(2年生)



平日2時間、休日4時間の練習のほか、月1で東京にレッスンで通うほどフルート中心の生活。地理と習字が得意科目で、ディズニーキャラクターでは Donald Duck がお気に入り。



の魅力は吹く人によって音色が変わり、歌っているような美しい音を奏でられるところです。今はフルートの練習と学校の勉強で忙しい日々が続いていますが、希望する音大への進学を目指して毎日頑張っています。これからも自分らしい演奏で、多くの人に感動を与えられるようなフルート奏者を目指したいです。

## 母

の勧めで小学3年からフルートを習い始めました。はじめは吹奏楽部とソロのレッスンの両方を行っていましたが、中学からはソロに専念。中学時の「全日本学生音楽コンクール北九



school

昔、度尾で起きた出来事にクローズアップ！



## タイムトラベル ～温故写新～

17話

### かのやハンヤ踊り



▲昭和35年の北田町での祇園祭の様子。祇園祭は県内では親しみを込め「おぎおんさあ」とも呼ぶ。

今年4年ぶりに開催された鹿屋の夏の風物詩「かのや夏祭り」。その前身にあたる「祇園祭」は、戦時中に途絶えていた時期もあり、いつから行われていたか定かではありませんが、戦後の昭和25年頃から青年団によって夏祭りとして再開。その後、鹿屋商工会議所と鹿屋市の共催で復活しています。



▲「ばか踊り」が初めて披露されたのは昭和38年。御神幸行列に続いて踊りが加わり、祭りをさらに盛り上げるようになりました。

これまで紆余曲折がありながらも現在まで受け継がれてきたかのやハンヤ踊り。これからも鹿屋を象徴する踊りとして次の世代へ受け継がれていくことしましょう。

当時から神輿やトラックなどを飾り付けた「山車」による御神幸行列が行われていましたが、現在のような踊りは行われていませんでした。昭和30年代半ば、徳島県の「阿波踊り」を参考にした踊りが取り入れられたことで、名称を「かのや夏祭り」に改めました。

かのや夏祭りでのこの踊りは、鹿屋地方に伝わる豊作を感謝する祭り「ばか豊穰」から由来した「ばか踊り」と呼ばれ、平成5年まで30年という長い間市民に親しまれていました。平成6年からは鹿児島県を代表する民謡「ハンヤ節」から由来した、現在の「かのやハンヤ踊り」と名称を改めました。